

質問5に寄せられたコメント

提出者区分	名称又は氏名	寄せられたコメント
団体等 その他	株式会社ロデムアセット	<p> 単体財務諸表への非償却モデルの適用に対し、不完全契約と債権者保護の観点から反対する。単体上の利益は会社法上の配当可能限度額の基礎となるが、減損テストは経営者の私的情報である将来予測に依存するため、第三者による検証可能性 (Verifiability) が極めて低い。のれんを非償却とした場合、客観的裏付けの乏しい未実現利益に基づいて配当が実施されるリスクが生じる。これは、企業財務理論において警戒される「株主による債権者からの富の移転 (Asset Substitution)」を助長するモラルハザードである。事後的なガバナンスの要である債権者保護を確実なものとするため、単体財務諸表においては検証可能なハード・シグナルとして機能する定期償却を厳格に維持すべきである。 </p>

以 上